

安全データシート

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : アスロン C
供給者の会社名称 : 日本製紙株式会社
担当部門 : ケミカル営業本部 ケミカル営業二部
住所 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6
電話番号 : +81-(0)3-6665-5960
緊急連絡電話番号 : -
ファクシミリ番号 : +81-(0)3-6665-0360
作成日 : 2023/4/1

推奨用途及び使用上の制限

用途セクター[SU] : 工業用
推奨用途 : 接地抵抗低減剤
使用上の制限 : データなし

2 危険有害性の要約

GHS分類 :

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分1
皮膚腐食性/刺激性:区分1
生殖細胞変異原性:区分2
発がん性:区分1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分2(呼吸器系 免疫系 腎臓)

GHSラベル要素 :

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 :

- ・ 重篤な眼の損傷。
- ・ 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ。
- ・ 遺伝性疾患のおそれの疑い。
- ・ 発がんのおそれ。
- ・ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系)。
- ・ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(呼吸器系 免疫系 腎臓)。

注意書き :

【安全対策】

- ・ 使用前に取り扱い説明書を入手すること。
- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・ 取り扱い後は顔、手、眼をよく洗うこと。
- ・ この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・ 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- ・ 暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物／容器は、地域／地方／国／国際法律に従って廃棄すること。

他の危険有害性：

3 組成及び成分情報 混合物

成分名	濃度 %	CAS No.	PRTR種類	労働安全衛生法-通知義務	毒物及び劇物取締法	化審法整理番号	化審法対象物質
ポルトランドセメント	非開示	65997-15-1		●			
石英（結晶）	非開示	14808-60-7		●		1-548	
無機塩	非開示	登録有				登録有	
金属酸化物（酸化アルミニウム、酸化カルシウムを含む）	非開示	登録有				登録有	
炭素繊維	非開示	7440-44-0				対象外	

濃度限界未満だがSDS作成濃度以上の成分：
該当なし

4 応急措置

応急措置の描写

全般的な注意事項：

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。

吸入した場合：

新鮮な空気を入れること。

皮膚に付着した場合：

直ちに以下のもので洗浄すること：

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。その後、医師に連絡すること。

熱い溶解物に触れた際には、（次のもの）で皮膚を手当てすること：

データなし

使用してはならない洗浄液：

データなし

眼に入った場合：

直ちに洗眼用シャワーまたは水で注意深く念入りに洗い流すこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、さらに10～15 minの間、流水で洗浄する。

飲み込んだ場合：

無理に吐かせないこと。口を、水で念入りにすすぐこと。

飲み込んだ場合、直ちに（以下のものを）飲ませること：

データなし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項：

データなし

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状

以下の症状が表われ得る：

データなし

影響：

データなし

医師に対する特別な注意事項：

データなし

特別な治療：

データなし

5 火災時の措置**消火剤****適切な消火剤：**

不燃物質であるため必要としない。

使ってはならない消火剤：

データなし

火災時の特有な危険有害性**危険有害な燃焼生成物：**

データなし

消火作業へのアドバイス**消火作業の保護具：**

自給式呼吸器具及び化学防護服を着用すること。

その他のデータ：

データなし

6 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置****人体に対する注意事項：**

作業には適切な保護具（手袋・眼鏡等）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

保護具：

適切な呼吸保護具を用いること。保護手袋／保護衣を着用すること。適切な眼の保護具を着用すること。

緊急時の措置：

粉じんが飛散しないようにする。

環境に対する注意事項：

漏洩物を河川や下水に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法・機材**封じ込めに関して**

取り除くために適した材質：

漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

浄化にあたって

畚積あるいは中和のために適した材料：

漏出、飛散した場合には、掃除機、スコップ、箒等により、できるだけ粉体の状態で回収する。やむをえず床面等に残ったものは、水で洗浄する。洗浄水は回収し、中和処理等により適切に処理する。回収物や回収した洗浄水は『13. 廃棄上の注意』に従い廃棄または排水する。

他の項を参照：

安全取扱い：参照箇所 項目7 廃棄物処理：参照箇所 項目13 個人用保護具：参照箇所 項目8

7 取扱い及び保管上の注意**取扱い****防護措置**

安全な取扱いの為のアドバイス

忌避事項：

粉塵/粒子の吸入 皮膚接触 目との接触

取り扱い時に充填するガス：

データなし

取り扱い時に充填する液体：

データなし

注意事項：

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。粉じんを吸入しない。皮膚、眼との接触を避ける。容器を密閉しておくこと。取り扱い後は、顔、手、口等を水洗する。

火災防止のための措置

湿潤状態を保持するための物質：

データなし

混合禁止物質：

データなし

隔離すべき物質：

データなし

注意事項：

特別な防火対策は必要ではない。この製品は不燃物質である。

エアゾールおよび粉塵生成を回避するための対策

充填、計量、サンプリング時に使用すべき装置：

みだりに粉じんが発生しないように取り扱う。屋内で取り扱う場合は換気に注意する。

以下のタイプの局所換気を用いること：

データなし

環境に対する注意事項：

マンホールや下水道は、製品が流入するのを防ぐこと。

特定の要求あるいは取り扱い規則：

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の対策を行い、必要に応じて局所排気、全体換気を行う。多量に取り扱う場合は集塵機を設置する。

一般的な労働衛生上の注意事項：

皮膚、眼、衣服との接触を避けること。

保管

包装材料

容器または設備向けに適切な材料：

防湿性の容器

容器または設備向けには、不適切な材料：

データなし

共同貯蔵に関する注意事項

保管分類：

データなし

混触禁止物質：

水、酸性物質との接触を避ける。乾燥した場所に保管する。

保管条件に関するその他情報：

容器は密閉し、吸湿を避けること。

8 ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

ばく露限界値： 日本産業衛生学会 勧告

成分	CAS NO.	国	許容濃度		管理濃度	
			mg/m3	ppm	mg/m3	ppm
石英（結晶）	14808-60-7	JP	0.03		3.0 / (1.19Q + 1)	

Q: 当該粉じんの遊離けい酸含有率(%)

	粉じんの種類	許容濃度 mg / m ³	
		吸入性粉じん	総粉じん
第1種粉じん	アルミナ、珪藻土、ベントナイト	0.5	2
第2種粉じん	ポルトランドセメント	1	4

ACGIH (American Conference of Governmental Industrial Hygienists) :
米国産業衛生専門家会議 勧告

	TLV-TWA mg/m ³
結晶性シリカ、α-クォーツ及びクリストバライト	0.025 (呼吸性画分)

ばく露制御 設備対策

最初に： 項目7を参照すること。製品を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。屋内で取り扱う場合は管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気設備を備える。多量に取り扱う場合は集塵機を設置する。

物質/混合物の使用におけるばく露防止の関連対策：
データなし

ばく露を防ぐための技術的な対策：
必要に応じて局所排気、全体換気を行う。多量に取り扱う場合は集塵機を設置する。

個人用保護具

眼の保護具

適切な眼の保護：

保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

注意事項：

適切な眼の保護具を着用すること。

手の保護具

適切な手袋の種類：

耐薬品性手袋

適した材料：

データなし

要求される特性：

耐薬品性

注意事項：

データなし

皮膚及び身体の保護具

適切な保護具：

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面 長靴

要求される特性：

耐薬品性

推奨される材料：

データなし

呼吸用保護具

呼吸用保護具が必要なケース：

粉塵が発生する場合、換気が不十分な場合

経験的に呼吸用保護具が必要な作業：

重量及び分量の計測作業。 混合機への装入。 洗浄作業。

適切な呼吸用保護具：

防塵マスク フィルター付濾過装置、もしくは送気フィルター器具

注意事項：

使用前に、漏れ/透過がないかどうかを点検すること。

環境ばく露管理

ばく露を防ぐための技術的な対策

排気ガス洗浄に用いるフィルターのタイプ :

データなし

排ガス洗浄に用いる再生・削減技術 :

データなし

排水に適用する化学処理方法 :

中和

9 物理的及び化学的性質

物理状態	粉末
色	灰白色
臭い	無臭
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	燃焼性を認めず
爆発下限界・爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	12～13（水に接触した場合）
溶解度	水に難溶
n-オクタノール/水分配係数(log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	1.2～1.4
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10 安定性及び反応性

反応性 :

通常の取り扱い条件では安定。水硬性がある。石英はフッ化水素ガスやフッ化水素酸（水溶液）と反応しフッ化物を形成する。

安定性 :

水と反応して安定固化する。

危険有害反応可能性

熔融した場合:

データなし

気化した場合:

データなし

凍結した場合:

データなし

避けるべき条件

乾燥状態:

データなし

隔離された状態:

データなし

微細分散/噴霧/ミストの状態 :

データなし

暖めた場合:

データなし

光が影響する場合:

データなし

衝撃や圧力の影響を受けた場合：

データなし

空気流入の場合：

データなし

貯蔵時間を超えた場合：

データなし

貯蔵温度を超えた場合：

データなし

混触危険物質

避けるべき物質：

水、酸性物質

危険有害な分解生成物：

データなし

追加情報：

データなし

11 有害性情報

毒性学的影響に対する情報：

皮膚腐食性/刺激性

酸化カルシウム(区分2)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

酸化カルシウム(区分1)

生殖細胞変異原性

石英（結晶）(区分2)

発がん性

石英（結晶）(区分1A)

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

硫酸カルシウム(1/2水和物)【焼石膏、バサニ石又はか焼】(区分3（気道刺激性）)/酸化アルミニウム(区分3（気道刺激性）)/酸化カルシウム(区分1)/ポルトランドセメント(区分3（気道刺激性）)

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

石英（結晶）(区分1)/酸化アルミニウム(区分1)/酸化カルシウム(区分1)/ポルトランドセメント(区分1)

物理的、化学的及び毒性学的特性に関する症状

経口摂取の場合：

データなし

皮膚接触の場合：

データなし

吸入した場合：

データなし

追加他情報：

この製品は、水と接触すると強アルカリ性（pH12～13）を呈する。JISZ 7252-2019によると、pHが2以下又は11.5以上の場合、その化学物質は、眼に対する重篤な損傷性（区分1）、皮膚腐食性（区分1）があると見做される。

12 環境影響情報

生態毒性：

データなし

残留性・分解性：

データなし

生体蓄積性 :
データなし
土壌中の移動性 :
データなし
オゾン層への有害性 :
データなし
追加環境毒性学情報 :
データなし

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

製品/包装材料の廃棄

危険有害性をもたらす廃棄物の特性 :

廃棄された後、何らかの作用により、上記の特徴のいずれかを有する（浸出液などの）物質を生成しうる廃棄物。

廃棄物処理方法のオプション

適切な廃棄方法/残余廃棄物 :

廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。

適切な廃棄処理/汚染容器と包装 :

固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。洗浄水等の排水は、水質汚濁防止法などの関係諸法令に適合するように十分留意しなければならない。

注意事項 :

認可を受けた廃棄物処理業者に引き渡すこと。

14 輸送上の注意

国連番号 非該当

国連輸送名 非該当

国連分類 非該当

容器等級 非該当

環境に対する有害性

陸上輸送 (ADR/RID) データなし

内陸水運 (ADN) データなし

海上輸送 (IMDG) データなし

航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR) データなし

MARPOL 条約73/78附属書II及びIBCコード
によるばら積み輸送 非該当

海洋汚染物質 非該当

国内規則がある場合の規制情報

陸上輸送: 非該当

海上輸送: 船舶安全法、港則法に従う。

航空輸送: 航空法に従う。

15 適用法令

毒物及び劇物取締法:

本製品は毒物及び劇物取締法の毒物及び劇物には該当していない。

労働安全衛生法第五十七条 表示物質:

石英（結晶）；ポルトランドセメント；

労働安全衛生法第五十七条の二 通知物質:

石英（結晶）；ポルトランドセメント；

労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則:

該当せず

労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則:

該当せず

労働安全衛生法 がん原生に係る指針対象物質：

14808-60-7、結晶質シリカ(石英)、1A、2023-04-01施行；

労働安全衛生法 強い変異原性が認められた化学物質：

該当せず

労働安全衛生法 鉛・四アルキル鉛中毒予防規則：

該当せず

化学物質管理促進法（PRTR）令和5年4月1日施行：

該当せず

消防法：

該当せず

化審法：

該当せず

水質汚濁防止法：

指定物質：1344-28-1、酸化アルミニウム；

土壌汚染対策法：

該当せず

大気汚染防止法：

該当せず

特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律：

該当せず

危険物船舶運送及び貯蔵規則：

該当せず

航空法施行規則：

該当せず

16 その他の情報

参考文献：

JIS Z 7253-2019_GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル・作業場内の表示及び安全データシート（SDS）、 JIS Z 7252-2019_GHSに基づく化学物質等の分類方法、 Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals(GHS) 6th revised edition by UNITED NATIONS、 緊急時応急措置指針「ERG 2016版」容器イエローカードへの適用、 経済産業省発行事業者向けGHS分類ガイダンス平成25年7月、 独立行政法人製品評価技術基盤機構監修のGHS分類物質一覧、 一般財団法人化学物質評価研究機構（CERI）公開の化学物質ハザードデータ集。

責任の限定について：

本記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。本製品を扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じてください。尚、本製品安全データシートは安全や品質の保証書ではありません。